



私たちの暮らしと大気汚染

・車を考える

熊本県には平成16年度末現在、自動車約128万台走っており、これは県民1.5人に1台の割合となります。ちょっとした外出にも車が使われていて、ガソリンなどの燃料の消費が、大気汚染の原因のひとつになっています。

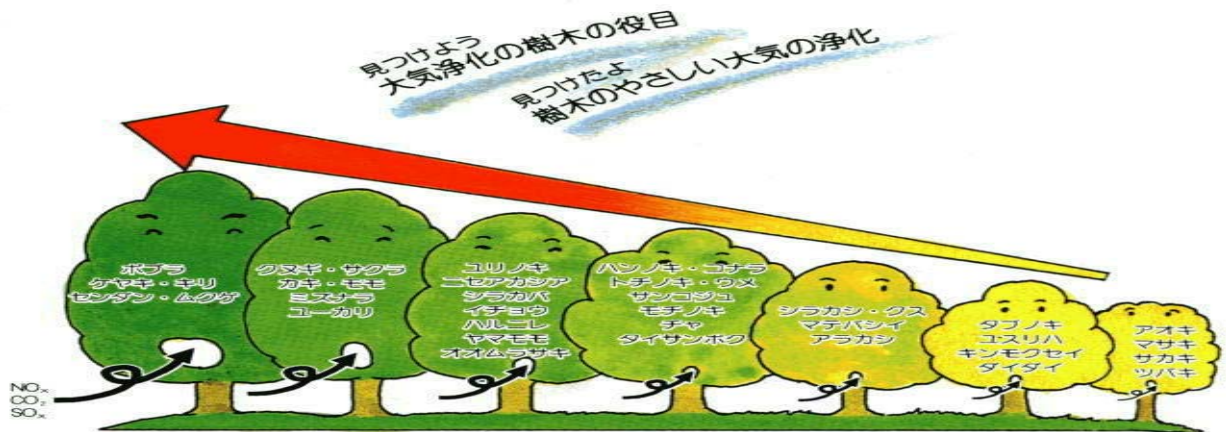


車の燃料使用量 (効率的な運転を！)

内 容	燃 料 消 費 量	走行可能距離
急 発 進	10回で120cc	1,240m
急 加 速	10回で120cc	1,240m
空 ぶ か し	10回で60cc	620m
アイドリング	10分間で140cc	1,440m
無計画なドライブ	10分間で400cc	4,120m
荷 物	10kg20cc (50km走行時)	210m

注) 対象車種は2,000cc、燃料10.3km/ℓ (10.15モード) を計算ベースとする。

「省エネルギー便覧 (財省エネルギーセンター)」より



資料：国立公害研究所調べ

・すばらしい緑の力を見直そう

植物には、光合成にともなって大気汚染物質を体内に取り入れ、大気をきれいにする働きがあり、私たちの身のまわりの環境を支えています。

家庭でも、草花や木を育てたりなど緑あふれる環境をつくり出すことが、大気汚染防止に役立っていることとなります。